

History of Former British Embassy Villa

旧英国大使館別荘とは...

まるで絵に描いたような中禅寺湖畔を眺める

英国の外交官として、明治維新に大きな影響を与えたアーネスト・サトウ。奥日光の自然、特に故郷・英国の風景を思い起こさせる中禅寺湖をサトウはことのほか愛し、湖畔の南岸に山荘を建てた。これが後の英国大使館別荘となり、「国際避暑地」の礎を築いた。



中禅寺湖上からみる旧英国大使館別荘

旧英国大使館別荘とアーネスト・サトウ



アーネスト・サトウ
横浜開港資料館蔵

サトウがはじめて奥日光を訪れたのは明治5年(1872)の早春だった。「崇高な自然」を求めて最初に訪れたのが、英国の湖水地方をほうふつとさせる中禅寺湖畔。「絵のような湖」に心から魅了された。この旅がきっかけとなり、明治8年(1875)には、英文ではじめて日光を紹介したガイドブック「日光案内」を発刊した。

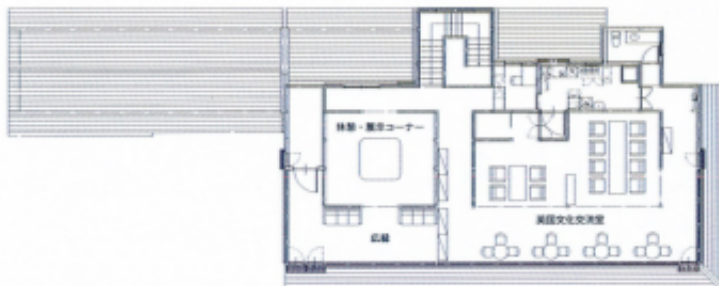
サトウは明治29年(1896)、自らの山荘を中禅寺湖畔の南岸に建てた。ここで、好きな登山や植物採取、そしてアフタヌーンティーなどを楽しんだ。ちなみに、サトウの山荘に滞在した人物にはイザベラ・バードがいる。バードはサトウに勧められ、山荘が完成したその年におよそ1ヶ月あまり避暑のため滞在。この時友人に宛てた手紙で、山荘から眺める風景の素晴らしさをつづっている。

山荘は後に英国大使館別荘となり、平成20年(2008)まで利用された。平成22年(2010)に栃木県へ無償譲渡され、平成28年(2016)夏に一般公開される。サトウが愛した中禅寺湖畔と英国の文化を心ゆくまで堪能したい。



サトウ別荘古写真
横浜開港資料館蔵

2階平面図



1階平面図



周辺
マップ

Access

JR日光駅及び東武日光駅から東武バス湯元温泉行き乗車、「中禅寺温泉」バス停乗り換え半月山バス乗車、「イタリア大使館別荘記念公園入口」下車、徒歩5分
歌ヶ浜駐車場から徒歩10分

お問合せ：栃木県環境森林部自然環境課
自然公園担当 TEL: 028-623-3206